



発行人
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話(09894)-5-4533
印刷
丸正印刷社

町の世帯・人口
(60年5月末現在)
世帯数 6,239世帯
人口 21,371人
男 10,968人
女 10,403人
5月の人口移動
出生 25人 死亡 6人
転入 122人 転出 102人
婚姻 19件 離婚 1件

町民の声を行政に反映させよう

平安町政、初の行政懇談会

「町民の声を行政に反映させよう」と、町では、五月十七日から六月六日にかけて町内各區で「平安町長と語る行政懇談会」を開いた。課長・事務局長以上の町職員が二班に分れて各區で町行政に対する要望、意見、苦情(救

済すべきもの)、問い合わせ(教えて欲しい)などを聞いた。町内十七ヶ所で延べ四三一人(町民)が出席。各區で約二時間にわたり、互いにヒザを交えて語りあった。懇談会では、はじめに平安恒政町長から本町の現状とこ

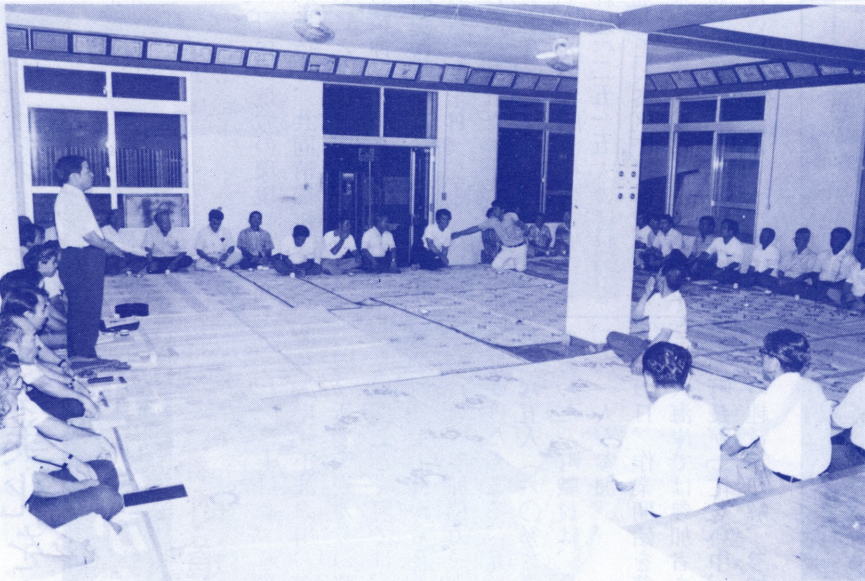
れからのビジョンについての話があり、その後に町民からの質問、要望などを受けていった。土木課、保健衛生課、都市計画課、総務課などに延べ二九三件の事案が出された。その中でも、特に、道路の整備、河川・排水の整備、交通安全対策、防犯対策など土木課関連の要望事項が大半を占めた。

そのほか、各課への問い合わせについては、各担当課長から席上で説明をし、行政に対する理解を求めた。町民から出されたすべての事案については、さっそく整理し、六月十二日、十五日の臨時庁議で今後の処置を練った。

中では、予算の都合で困難な問題もあるのでは可能なものは年度内に補正して対処し、それ以外のものは、中長期計画の課題としてとらえ年次のに解決していくことにしている。さらに国の制度上どうしても現時点で解決できないものもあり、その件であらゆる機会をとらえて住民の声を国に上げ制度改正に向けて努力する一方、内部でも検討を重ねたい、としている。

町では、今後とも町行政に反映させるために町民の皆様課への主な事案は次の通り。
土木課(113件)①道路の整備②河川・排水路の整備③交通安全対策④土砂くずれ防止対策⑤用地取得の価格算定法⑥南伸道路関係
保健衛生課(48件)①ゴミ収集業務②ハブ対策③空地対策④野犬対策⑤墓地⑥公害対策
都市計画課(25件)①県営団地の建設関係②都市下水路の整備③公園整備④公共下水道の整備計画⑤土地区画整理事業の整備計画⑥街路の整備⑦市街化区域の見直し⑧工場適地の整備⑨産業振興
総務課(21件)①交通安全対策②非核宣言③職員の応接④職員採用試験⑤防犯対策
産業課・農業委員会(18件)①農道の整備②農振地域の見直し③畜産公害対策④交通安全対策の行政指導⑤農薬購入補助⑥黒穂病防除
教育委員会(17件)①琉大附属小への入学問題②小学校の

ブル建設③学校施設の一一般開放④分離中学校の設置計画⑤ジュニアリーダー研修の実施⑥優良生徒の町表彰⑦町立図書館の建設⑧中央公民館図書室の利用状況⑨内閣御殿の文化財県指定⑩校区問題⑪基礎学力向上対策⑫専用バスの配置⑬子供会への補助金増額⑭西原高校の大学進学率
企画課(14件)①行政区の見直し②県営団地に関する問題③将来展望④計画行政⑤公有水面埋立計画⑥広報
福祉課(13件)①西原の塔へのゴミカゴ設置②ゲートボール場整備への補助③保育行政と保育料の問題④児童館⑤養護学校校区問題⑥障害者福祉
税務課(12件)①固定資産の評価②市街化区域農地の課税③固定資産税の減額④税金納付の口座振替の導入
水道課(9件)①水圧対策②漏水の減免措置③水道料金の郵便振替の導入④アパートの水道料金
国民健康保険課(2件)①国民年金の申請免除②国民年金の移動届
住民課(1件)①住民登録
道事業の経営の面で互いに切



行政懇談会で本町の現状と将来のビジョンについて町民の皆さんに説明をする平安町長 写真13区で

《町役場の電話番号案内》

総務課・福祉課	5-5011(代)
出納室、住民課、選挙管理委員会	5-5012(代)
税務課・国民健康保険課	5-4729(代)
議会事務局	5-5005
企画課	5-4533
土木課・都市計画課	5-4415(代)
保健衛生課、農業委員会、産業課	5-5013(代)
水道課	5-4934(代)
教育委員会	5-3655(代)
公民館	5-3657
センター	5-4935
西原小学校	5-2402
西原幼稚園	5-2568
西原東小学校	5-1384
西原東幼稚園	5-1385
坂田小学校	5-5222
坂田幼稚園	5-5300
西原中保保育所	5-5202
西原保育所	5-2567
西原保育所	5-5306
西原保育所	5-4393
社会福祉協議会	5-3651

水道事業の重要性をPR

盛大に水道パレード

水に対する認識を深め、限られた水資源の有効利用を図る水道事業に対する町民の理解を得ようと、町では、水道週間(六月一日〜七日)にちなみ七日午後、町内一円のパレードを行った。パレードには、町水道課職員と全給水工

水指定店八業者の関係者が参加、町民に水道事業の重要性をPRした。
パレードの後、水道庁舎で行われた反省会で、町水道課長は「今日、水の大切さを住民のみなさんに訴え有意義なパレードとなった。今後、水

国勢調査員募集中

7月15日まで

町企画課

十月一日には全国一斉に昭和六十年国勢調査が行われます。国勢調査は五年ごとに行われる国の最も基本的な統計調査です。国内の人口の実態を総合的に把握し、各種行政施策の基礎資料となります。町では、この調査の調査員を町内から募集しています。一調査区の世帯数は約五十世帯、その報酬は三万円程度。七月二十五日まで受付です。なお、詳しいことは、町企画課統計係(電話五・四五三三)にお問い合わせ下さい。



礎築しあって水の有効利用と安定供給に向けて頑張っている。国勢調査は、町民の協力をお願いしたい」とあいさつした。



地域の生活環境美化をめざして

総勢2700人が参加

町道路排水愛護デー

町民が地域の環境美化に関心をもち、共同清掃作業をやることにより道路、排水愛護の精神を高めようと、第四回町道路排水愛護デーが、六月十六日、二十日、二十三日の三日間行われた。十六日は七区十八区で、二十三日は一区六区で共同清掃作業が行われ延べ二五五人の区民が参加した。各区では、道路、排水、児童公園などを中心に草刈、溝さらい、空缶の収集に良い汗を流した。

また、二十日は、産業道路、いただき感謝したい。炎天下暑いとは思いますが頑張つて下さい」と激励した。その後町長はほかの三カ所も巡回、各カ所で参加者を励ました。

産業道路では、側溝が土砂でいっぱいになり、参加者がスコップで土砂を掘り起し、水はけを良くしていた。そのほか、かなりの成果を上げて成功裏に愛護デーを終えた。最後に愛護デーにご参加下された町民および事業所の方々に感謝申し上げますとともに、来年は、さらに多数の方々が参加下さるようお願いいたします。

なお、各区の参加状況は次の通り。

1区	二五〇人	2区	一三六八人
3区	九五八人	4区	六八八人
5区	五〇八人	6区	九〇八人
7区	三二二人	8区	一九四八人
9区	二二〇人	10区	一六〇八人
11区	一三〇人	12区	一〇〇八人
13区	一八七人	14区	一三二二人
15区	一八〇人	16区	一三二二人
17区	五〇八人	18区	一三〇八人
合計	二五五五人		

交通安全運動を推進

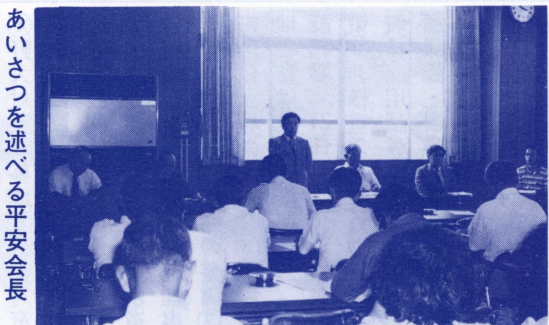
町交通安全推進協議会

町交通安全推進協議会(平安恒政会長)の昭和六十年度総会が、六月二十一日午後、町役場会議室で開かれた。会場には、平安会長、親泊副会長(議長)、小川副会長(助役)など関係者四十三人が出席、五十九年度事業報告・決算、六十年事業計画、予算などを承認した。

総会の冒頭、平安会長は、「本会は、昨年度、児童から標語、作文を募集したが、りっぱな作品が集まった。機会

あるたびにこれらの秀作を活用し交通安全教育に役立てている。また、町議会で決まったシートベルト着用も推進していきたい」とあいさつした。

また、幸地浦添警察署長は「皆さんの協力で交通事故を未然に防止し、明るい社会をつくらせてもらいたい」と激励した。



あいさつを述べる平安会長

村への視察研修(6)年末年始の全国交通安全県民運動(十二月～来年一月)などに取り組むことにしている。

心豊かなふるさとづくり推進協議会

クリーン(きれいにする)、グリーン(緑と花で包む)、グレイシヤス(心を育む)の推進を運動目標にする町心豊かなふるさとづくり推進協議会(平安恒政会長)の昭和六十年度総会が、六月一日午前、町役場会議室で開かれた。写真。会場には、関係者約二十五人が出席、五十九年度決算

の承認と新年度の事業計画・予算を決めた。

同会では、新年度に①公共施設へのチリカゴとプラントの設置②町産業展示会への協力③講演会の開催④児童公園への球根植栽などを計画している。

国民年金

保険料第一期分未納の方は、7月末日までに納めましょう

年金保険料第一期分の納期限がすぎました。まだ保険料を納めていない方は早めに銀行や農協窓口にて納めるようにして下さい。

未納をしていると、思わぬ事故で障害になったり、不幸にして一家の大黒柱である主人が死亡したりした場合に、障害年金や母子年金などが受けられない場合がありますので、保険料は納め忘れのないようにして下さい。年金についての相談は、町役場年金係まで連絡をお寄せ下さい。電話五、四七二九。

登記関係手数料納付のお知らせ

七月一日から登記所の経理が特別会計によって行われることとなった。これに伴い、不動産登記簿や商業・法人登記簿等の謄抄本交付、閲覧、証明等の申請に要する手数料は、七月一日より「収入印紙」ではなく「登記印紙」によって納めることになった。詳細は、与那原地方方法務局与那原出張所に問い合わせ下さい。



生活環境の美化をめざして成功裏に終わった第四回町道路排水愛護デー—町内は参加者を激励する平安町長

水道料口座振替は毎月20日に

たえず残高を確認して下さい

未納の時は督促状で通知

水道使用者が銀行との契約によって水道料金の預金口座振替払いをしている方の料金支払いは、毎月二〇日となっております。振替の方は、たえず預金残高をお確かめの上、料金未納

にならないようお願いいたします。

なかには銀行に預金残高が少ないため料金未納になることがあります。このような場合は、翌月改めて納期限を指定し、町が直接本

人宛に督促状を発送します。使用者は、督促状を持参の上、水道課を経由して出納室(銀行窓口)で督促手数料を添えて支払うこととなります。

ただし、一ヶ月分のみ未納の場合に限り指定納期限内は銀行口座に振込み、振替依頼をすれば納付できます。

督促状による指定納期限

内には納付されないときは、町水道給水条例に基づき、督促手数料、延滞金を加算するとともにやむを得ず給水を停止することがあります。また、給水を再開するときも給水再開手数料五百円が加算され、余計な負担をすることになりますのでこのようなことがないようにお早めに納付して下さい。

本町を訪ね、町長と懇談

ペルーの宮城フェルナンドさん

将来は日本語教師に

県費留学生としてペルーのリマ市から琉球大学に今年四月から入学している宮城フェルナンドさん(27歳)が、六月四日午前、父親・盛光さん郷里である本町に平安町長を訪ね、表敬のあいさつと懇談を交した。その日、町長室には、小川助役、翁長収入役、稲福教育長、宮平総務課長も同席、歓迎した。

フェルナンドさんは、リマ市にある国立サンマルコス大学心理学科を一九八二年に卒業、三年間仕事をしていたが、日本語の教師になりたいと思い日本留学を決意した。ペルーで約三年間、日本語を勉強、漢字もかなり覚えた。

今、琉大では、日本語、心理学などを学んでいる。父親は字と那城出身、焼き鳥屋を経営している。

「沖縄の印象はどうですか」との質問にフェルナンドさんは「雨が多くてびっくりにしている」と答えていた。懇談の中で平安町長は「本町出身者は南米各国、各方面で活躍されている。将来、あらゆる機会をとらえて南米の二世、三世の皆さんと本町の青年の交流も図っていききたい。その時は、ぜひ、ペルー

と西原のかけ橋役になって頂きたい。そのためにもしっかり日本語をマスターし、帰国後、りっぱな日本語の教師になるよう頑張ってください」と激励した。

今年度の南米から琉大への県費留学生は、ペルー一人、ボリビア一人、アルゼンチン一人、ブラジル二人計五人。この制度は、昭和四十四年から始まり今年で十六年目。留学期間は一年。

農業振興と経営刷新を目指す

町農協通常総会

町農業協同組合(城間光雄組合長)の昭和六十年年度通常総会が、六月二十日午後、中央公民館で開かれた。写真。会場には、関係者約九百人が出席、五十九年度の事業報告・損益計算および剰余金処分、六十年度の事業計画など八件の議案がすべて承認された。

その日、平安町長、親泊町議会議長、与儀町農業委員会会長、安里農協中央会企画調整部長などが来賓として出席し、あいさつを述べた。

五十九年度実績では、①貯金八八億九二〇〇万円②貸付一五億七〇〇〇万円③全国農協貯金ネットサービス開始④長期共済一五億五四〇〇万円(新契約分)⑤購買事業二億六八〇〇万円⑥販買事業一〇億一八〇〇万円(キビ三万二〇一ト、肉豚三二九二頭、花キ四一九万二千本)などが報告された。

六十年度事業計画の基本方針では、地域農業振興計画と経営刷新三カ年計画の達成に向け万全を期する、としている。また、同運営方針では、各事業で五十九年度実績を上回る目標額を設定、事業拡大を図ることにしている。

会長に城間氏を再任

町商工会通常総会

町商工会(城間三郎会長)の昭和六十年年度通常総会が、五月二十三日午後、中央公民館で開かれた。会場には、関係者百人余が出席、五十九年度事業報告、決算の承認のほか六十年度事業計画、予算、役員などを決めた。その日、平安町長も出席し来賓あいさつを行った。

新年度事業では、倒産防止共済制度説明会、経理講習会、会報発行、金融懇談会、地域問題に関する懇談会(九月)、歳末助け合いチャリティゴルフ大会(十月)、町および議会関係者との懇談会(十二月)、税務講習会などを計画している。

なお、主な新役員は次の各氏。

▼相談役 呉屋秀信(金秀鉄工(株)社長)、小宮淳之(南石油(株)副社長)、西銘正雄(オキコ(株)社長)、安谷譲(中部製糖(株)社長)、富永寛二(沖繩軽金属(株)社長)、古謝将吉(沖繩カントリークラブ社長)、小波津健(三善建設(株)社長) ▼会長 城間三郎(有)三明タイル工業社長 ▼副会長 小波津勇(三善建設(株)専務)、新垣勇(丸新電気工事社代表者)

珍鳥名鳥を参観

野鳥写真展

野鳥への関心を高め自然保護思想を広めようと、六月三日から十日にかけて沖繩野鳥研究会と町教育委員会共催による「沖繩の野鳥写真展」が開かれた。連日、多数の観客が参観しにぎわった。

少年少女コーラス誕生

中央公民館では、五月二十五日午後二時から昭和六十年度中央公民館事業として少年教育の少年少女コーラスを開設した。町内の小学生五十人余の申込みがあり、スタート早々活況を呈している。

この少年少女コーラス生は、向こう一年間、毎週土曜日午後二時から四時まで、年間四十回の日程で合唱指導「名嘉山和信先生(西原中・音楽教諭)、ピアノ伴奏「幸地多喜子先生(ピアノ教師)」のもとに練習を積み重ねることになっている。

公民館では、将来、彼らが町少年少女合唱団を結成するものと期待を寄せている。

なお、お問い合わせは中央公民館(電話五二一三五七)にして下さい。

香典返し

字翁長一一五の糸数光助さんは、六月十五日に故母・トシさんの香典返しとして町社協に十萬円の寄付がありました。この紙面をかりて糸数さんの御厚意に感謝いたします。

町長、表彰児童を激励

宮城君ら4名表彰される

水難事故防止ポスター標語



児童を激励する平安町長(右)、左から玉那覇、宮城、伊計、崎原の各君

水難事故を未然に防止するためのPRと児童の安全教育に役立てようと、浦添警察署と県警本部が、このほど、水難事故防止ポスター、標語を署内・県内の小学生から募集審査した。

審査の結果、西原小学校児童の作品が優秀と認められ、六月六日に同校で表彰伝達式が行われた。

その日昼、平安町長は、その知らせで同校を訪れ、表彰を受けた児童一人ひとりを激励し、記念品を贈った。

なお、表彰を受けた児童は次の各君。

【浦添署表彰】
▼ポスターの部 一位〓宮城裕司(六年)、三位〓玉那覇悟一(六年) ▼標語の部 一位〓崎原盛俊(五年) 〓き

いな海一人で泳げば事故のもと 三位〓伊計寿紀(五年) 〓よい子ならみんなで行く大海や川

【県警本部表彰】
▼ポスターの部 佳作〓玉那覇悟一、宮城裕司

20歳から加入手続きを

あなたは国民年金に加入していますか

人生八十年といわれる今日『年金』は老後の生活に欠くことのできないものになっていきます。この大切な年金を受けるために、若い時から国民年金に加入していただかなければなりません。まだ、国民年金に加入していないあなたは今すぐ町役場年金係の方まで加入の手続きをして下さい。

加入対象者 日本国内に住む20歳から60歳までの人で、他の年金制度に加入していない人は、必ず国民年金に加入しなければなりません。昼間の大学や、他の年金制度に加入している人の配偶者は、希望した時に加入できます。

踊り、リレーで良い汗流す

婦人スポーツデー

スポーツを通して会員の親睦と健康づくりに役立てようと、町婦人会(大城静子会長)主催の婦人スポーツデーが、六月二日、西原東小学校グラウンドで開かれた。会場には二十四の単位婦人会の会員は、はじめその家族約千人が参加、踊りやかけっこなどにさわやかな汗を流した。

婦人と子どもとの混成による「オットット」や「親子目かくし」も和気あいあいと進んだ。そのほか、西原町音頭に

中学校卒業程度認定試験のお知らせ

趣旨

受験資格

病気等やむを得ない事由のため、義務教育諸学校に就学することができないで、就学を猶予又は免除された者等に対し中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験で、合格した者には高等学校の入学資格が与えられる。

(一) 就学義務猶予免除者である者又はあった者で、昭和六十一年三月三十一日までに満十五才以上になる者。

(二) 尋常小学校又は国民学校に就学義務猶予免除された者

(三) 就学義務猶予免除を受けた者

けず、かつ、義務教育諸学校を卒業することができなかつた者で、就学義務猶予免除を受けることができる事由に相当する事由があったと文部大臣が認めた者

願書受付期間 八月十二日(月)〜九月十一日(水)

受付場所

沖縄県教育委員会

試験期日

十一月八日(金)

試験科目

国語、社会、数学、理科 外国語(英語)

なお、詳しいことは、町教育委員会(電話〓五二三六五五〓六)にお問い合わせください。

関係者に募金協力を 坂田小40周年事業期成会

坂田小学校創立四十周年記念事業期成会では、五月二十二日午後七時から同校体育館で募金協力説明会を開いた。会場にはPTA理事、地元自治会長、同窓生など関係者約四十人が出席し、経過報告、事業計画および募金協力についての説明を受けた。

席上あいさつに立った平安恒政期成会長は「四十周年記念事業の成功に向けて皆さん方のご協力をお願いします」と述べた。

同会では、現在の募金額は目標の五五%しか達成できていないため町内外の関係者に募金協力を行い、記念事業を成功させたい、としている。



OBの熱戦の模様



「西原町音頭」の曲に乗せて踊る婦人〓西原東小運動場で

乗せての踊り、ボール運び、玉入れ、つなひき等多様な催し。今年から十八区婦人会も初参加、大会を盛り上げた。

事業内容は、①体育館内部の設備備品の整備②屋外遊具施設と緑化事業③校内放送施設・吹奏楽器の整備など。来年の四月に記念式典を催すことにしている。

六区アベック優勝

OB・家庭婦人バレーボール大会

町体協(平安恒政会長)主催の第七回各区対抗OB(三十五歳以上の男子)・家庭婦人バレーボール大会が、五月二十六日午前九時から西原東小、西原中の両体育館で開かれた。両会場には、OB十一チーム、家庭婦人十三チームが参加、大変賑った。

小波津、字花・字木・標語を制定

緑豊かな字づくりを目指しさらに団結を深めようとこのほど、字小波津では、各種団体の代表者、小波津農村振興会理事など十三人が集まり、字花、字木、スローガンの審査を行った。審査の結果、字花にサルビアと日草、字木にリュウキユウコクタン(クロキ)、スローガンに「みんなの参加でのびゆく小波津」を決めた。

スローガンは、地元の関係者から公募、字小波津九八番地の東里和歌子さんの作品が採用された。



62 海の国体 海邦国体 緑豊かな美しい郷土をつくろう

水の事故 夏は交通事故よりこわい